

## 製品情報

COMboxは2つの機能を提供します:

- ✓ **在庫情報:** 開示対象の顧客に在庫状況を提供します。有効在庫が不足する際には、デポの情報を表示します。
- ✓ **pl24connect への受注情報の自動ダウンロード:** IMTからの受注情報は pl24connect に自動でダウンロードされ、ただちに受注処理が可能です。（“受注管理”▶ „新規オーダーフォーム”タブに表示）

受注処理の所要時間短縮と、デポレベルを含む在庫情報の表示は顧客満足度の向上に貢献します。

24時間365日稼働するワークステーションに COMbox をインストールします。これにより、在庫情報と受注が継続的に参照可能になります。

## 重要な注意事項

このドキュメントは、Expert バージョンで利用される COMbox を24時間稼働システムにインストールするためのガイドです。

COMbox を確実にインストールするため、ステップごとにドキュメントの表記に従ってのインストールと設定実施をお願いします。インストール作業において、マニュアルの記載と異なる動作が発生した際には [pl24connect.jp@lex-com.net](mailto:pl24connect.jp@lex-com.net) までお問い合わせください。

インストールに必要な項目は下記をご参照ください:

- ➔ Windows OS (Microsoft社のサポート対象製品) 搭載の端末
- ➔ Windowsにローカルの管理者権限を持つユーザー アカウント
- ➔ pl24connect ダウンロードサイトへのアクセス
- ➔ DMS システムの http サービス URL
- ➔ プロクシー設定情報 (プロクシー利用環境のみ)
- ➔ partslink24 の「アカウント管理者」権限 (複数端末で pl24connect 利用時)
- ➔ オプション: メーカー／インポーターより付与された貴社ディーラー番号

万一、COMbox が正しく動作しない場合は、受注した注文は引き続き pl24connect の「受注管理」タブから手動でダウンロードして処理することができます。COMbox の不具合により受信情報の手動ダウンロードが必要な際には、在庫情報の参照が機能しません。

## ① 24 / 7 システムへのインストール

**重要:** システム構成によっては、インストール中にウイルス対策ソフトウェアを停止したり、特定のURLをホワイトリストに登録したりする必要が生じる場合があります。

詳細については、[pl24connectトラブルシューティングガイド](#)を参照してください。

1. ローカルの管理者権限アカウントで端末にログオンし、pl24connect ダウンロードサイトにアクセスします。  
**注:** 通常、ドメイン管理者権限では不十分です。
2. pl24connect Expert バージョンをダウンロードしてください。
3. “setup24-7.exe” をダブルクリックして、ガイダンスのとおり操作してください。
4. コンポーネントの選択では、“コネクターのインストール”を選択、「次へ」をクリックします。

インストールを希望するオプションを選択して下さい。選択したら“次”をクリックして下さい。

COMboxのインストール  
 COMboxとメッセージジャーのインストール  
 メッセージジャーのインストール

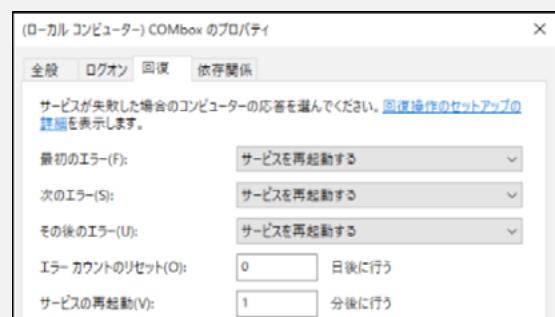
5. 設定したインストール先パスと選択コンポーネント(コネクター)を確認します。「インストール」をクリックして、COMbox のインストールを開始します。
6. “COMbox セットアップウィザードの完了”が表示されたら“コネクターの設定を表示”をチェックせずに「完了」をクリックします。

COMbox のインストールが完了しました。

## ② COMboxサービスの回復オプション

COMboxサービスの中断後の手動による再起動を回避するために、サービス管理で回復オプションを設定できます。

1. 「Windows Key + R」キーを押して「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開いてください。
2. 入力欄に「services.msc」と入力して「Enter」キーを押し、サービスビューを開いてください。
3. サービス「COMbox」を右クリックして「プロパティ」を選択します。
4. “回復”タブをクリックしてください。
5. 3つのドロップダウン設定「最初のエラー」、「2番目のエラー」、および「その後のエラー」のそれぞれに対して、オプション「サービスを再起動する」を選択します。
6. 「OK」をクリックしてデータを保存してください。



### ③ COMbox のためのファイアウォール設定

ファイアウォールの設定でサポートが必要な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

メッセンジャーとpl24connectがCOMboxに接続できるようにするには、ファイアウォールで特定のポートを開く必要があります。

ファイアウォールに下記の新しい規則を作成します:

新しい規則: **受信の規則** ポート: **50080** プロトコル: **TCP**

操作: **接続を許可する** プロファイル: **ドメイン、プライベート、パブリック**

名前: **COMbox Service**

新しい規則: **受信の規則 / 送信の規則** ポート: **3001, 3002** プロトコル: **TCP/UDP**

操作: **接続を許可する** プロファイル: **ドメイン、プライベート、パブリック**

名前: **COMbox Messenger**

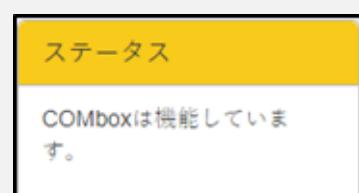
受信		送信	
ローカルポート	プロトコル	ローカルポート	プロトコル
3001, 3002	TCP	3001, 3002	TCP
3001, 3002	UDP	3001, 3002	UDP
50080	TCP		

## ④ COMbox の設定

**重要:** 下記に記載の箇所のみ変更します。記載のない項目は変更しないでください。

1. デスクトップに作成の”COMbox の設定”アイコンをダブルクリック。設定画面を表示します。
2. “インターネット接続”の “インターネットアクセスのプロクシー” に接続設定が正しく表示されていることを確認します。
3. “COMboxインストレーションの為の資格情報”にはpartslink24の管理者の情報を入力して「保存」をクリックします。ユーザー名がインストール時に自動作成されたユーザー名(例: combox1)に変更されます。注変更は COMbox の再起動後まで表示されない場合があります。
4. “ブランド / DMS”では必要なブランドの設定を行います。プルダウンから対象ブランドを選択、「ブランドの追加」をクリックします。
5. 一覧から“DMSのプロトコール”を選択します。提供されたDMSデータに従って適切な設定を行います。DMSが他のネットワークに設置されプロクシーの利用が必要な場合には “DMSはプロクシーを利用する必要が有ります。”にチェックします。すべて入力したら、「保存 & テスト」をクリックします。
6. 上記で設定した以外のDMSに受注のコピーを送信する場合、“ブランド毎の追加設定”をクリックします。受注のコピーを送信するDMSのデータを、新しく表示された“他のDMSへオーダーコピー”欄に入力します。すべて入力したら、「保存 & テスト」をクリックします。このコピー設定が不要になった際には、「削除」をクリックします。
7. DMS 設定後に、在庫参照をテストします。“在庫問い合わせの試験” の”部品番号”と”問い合わせ個数”を適宜入力、「問い合わせを送る」をクリックします。表示される結果を確認してください。  
注: 在庫参照は最初に設定したDMSのみ対象となります。コピー送信先として追加設定されたDMS は参照されません。
8. “オーダー転送”の“オーダーロケーション”は変更しません。“未処理のオーダーのエスカレーション”には通知先として有効な電子メールアドレスを入力、エスカレーションを行うまでの経過時間を適宜設定して「保存」をクリックします。
9. “その他設定”では “問題警告のE-mailアドレス” に技術情報等のお知らせの送信先として電子メールアドレスを設定、「保存」をクリックします。複数の電子メールアドレスを設定の場合、カンマで区切って入力します。変更後、ウィンドウの下部にある「保存」をクリックします。
10. 画面左側の “ステータス” 欄で COMbox が正しく動作しているかを確認してください。

エラーが表示される場合、設定を再度ご確認ください。問題なれば“Orders” フォルダーの共有に進みます。



## 5 “ORDERS” フォルダーの共有設定

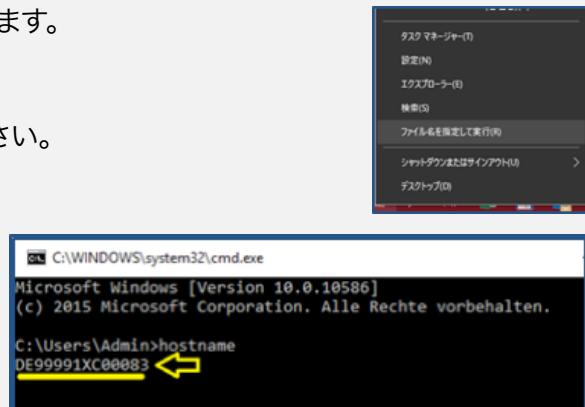
“Orders” フォルダーを下記の要領でネットワーク上で共有します:

1. “オーダー転送”をクリックして表示します。
2. “受信した見積依頼/注文データのパス”に設定の値をコピーします。  
→ 例: C:\ProgramData\LexCom\COMbox-Connector\Orders
3. エクスプローラーを起動します。(Windows キー + E)。
4. パス名のフィールドに、ステップ2でコピーした値(パス)をペーストしてEnterを押下します。
5. 1階層上のフォルダー “COMbox-Connector” に移動します。
6. Ordersフォルダーを右クリックします。
7. 「プロパティ」を選択 ► 「共有」タブを選択 ► 「詳細な共有」を開きます。
8. 「このフォルダーを共有する」にチェックを入れて、「アクセス許可」を開いて「許可」の列にある「フルコントロール」をチェックしてEveryoneにフルコントロール権限を付与します。
9. “OK” をクリックすると、フォルダーのネットワーク共有が有効となります。

COMbox をインストールしたコンピュータ名をメモします。pl24connect のクライアント設定の際に必要となります:

### コンピュータ名の確認方法

- ✓ Windowsのスタートボタンを左クリック(Windows 7)・右クリック(Windows 8 / 10)して、メニューを表示します。
- ✓ 「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- ✓ “cmd” を入力、“Enter”キーを押下してください。
- ✓ コマンドプロンプトに“hostname”と入力し、“Enter”キーを押下してください。
- ✓ 24時間稼働システムのコンピュータ名が表示されます。



## 6 トラブルシューティング

インストールにおけるエラーおよび、インストール後の動作に関するお問い合わせは  
[pl24connect.jp@lex-com.net](mailto:pl24connect.jp@lex-com.net) まで、電子メールにてお申し付けください。